

きた ひょうが はなし 北アルプスの氷河のお話

2024年もあと1ヶ月ほどになりましたね。受験生は、最初の本番まで40日ほど、という人が多いと思います。5年生以下の人も、年明けには総合復習テストが控えていますので、そろそろテスト勉強を始めている人もいないでしょうか。（え、冬休みが楽しみすぎて考えてなかった？）

さて、今回は、北アルプス（飛騨山脈）北部の白馬連峰で、新たに氷河が発見された、というニュースについてです。

「氷河」とは、雪が自分自身の重みで押し固められた巨大な氷の塊で、自分の重さや圧力によって形を変えながら流れる（ゆっくり動く）ものをさします。北ヨーロッパやグリーンランド、南極などのものが有名ですね。以前は現在の日本には存在しないと考えられていましたが、



スイス・アルプスの氷河
（写真は Wikipedia より）

1999年からの研究により、2012年に北アルプスの雪渓（山地の谷間に雪がたまったもの）のいくつかが動いていることがわかり、氷河（谷間にそって流れる谷氷河）であると認められました。

せんしゅう、そこに2つの氷河が加わることになりそう、というニュースがありました。国内では8, 9番目、ということになります。日本は緯度が低く、富士山の山頂ですら万年雪(一年中とけない雪)はありません。北アルプスの谷間では、雪崩によって大量の雪がたまることでその一部が万年雪になると考えられていて、氷河が出来たり、残ったりすることに大きな影響があるようです。



とうきょうでは雪を見かけることも年に数回ですが、冬休みに雪国に行く人は、氷河のことも考えてみる良い機会ではないでしょうか？このまま地球温暖化が続けば、いつまで見られるかわかりませんしね……

24/11/28 (氷河も1度はさわってみたい) あん Do

参考：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E6%B2%B3>

(Wikipedia の「氷河」のページ)



[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E6%B2%B3%E3%81%AE%E4%](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E6%B2%B3%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7)

[B8%80%E8%A6%A7](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E6%B2%B3%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7)

(Wikipedia の「氷河の一覧」のページ。日本のところに、立山連峰の氷河の写真あり)

